



平成24年度

○第7回県政ひざづめ談議の結果概要

開催日時	平成24年8月28日(火) 午後1時55分から午後3時20分頃まで
対話テーマ	これからのFSCの普及・活用について
対話場所	甲府市丸の内「県庁議事堂」
参加者	COC認証事業者 18名 (自社が製造する材木や木製品、紙等について、国際的な森林管理協議会FSCの認証を受けるため、COC認証を取得した素材生産及び製材・加工業者)
参加者の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・FSC認証の知名度が低いため、PRが必要と思う。エコマークやリサイクルマークのように子どもを中心に、生活に密着した形で、FSCマークが目につくようにしたらどうか。・県庁職員には、FSCについて理解を深めてもらい、印刷物や公共工事の発注の際、仕様に反映させるなど、FSC認証を受け、維持していることが報われるようにしてほしい。・森を守ることは、水源を守ることであるため、下流域の東京都や神奈川県という大消費地に対して、山梨の県有林のFSC認証材を売り込んでいただきたい。・FSC認証を受け、きちんとした管理基準に基づいて森林の管理を行っているということは、現在県で行っている毎木調査などの業務の中で、民間委託が可能なものもあるのではないかと。  
知事の 主な発言	<ul style="list-style-type: none">・皆さんには、それぞれ森林の管理を担当していただいたり、山梨の木材を使って色々な製品を作っていたりなど、山梨の林業行政に貢献していただいている。・皆さんから色々な意見をいただき、FSCの課題が浮かび上がってきたと思うので、こうした意見ができるだけ実現するように努力していきたい。・COCの認証を取得した森林管理に意識の高い皆さんが、集まって意見交換をするような機会をつくる必要があると考えている。・FSC認証材の計画的な販売のためにも、県有林の安定供給は大事なことである。 